【資料３】

令和７年度スポーツ振興事業助成交付対象事業の募集（案）

● 令和７年度募集を行う上での基本方針

令和７年度の助成事業については、**資料３別紙**に掲げる事業について募集を行う。

なお、スポーツ振興くじ助成については、「スポーツ振興投票の収益による助成の基本方針（平成１３年１１月５日文部科学大臣決定）」、「スポーツ振興投票収益からの今後の助成の在り方に関する議論のまとめ（平成２０年１０月２８日中央教育審議会　スポーツ・青少年分科会　スポーツ振興投票特別委員会決定）」、「スポーツ立国戦略（平成２２年８月２６日文部科学大臣決定）」、「スポーツ基本法（平成２３年８月２４日施行）」及び「第３期スポーツ基本計画（令和４年３月２５日策定）」を踏まえたものとする。

● 令和７年度募集の見直し内容

スポーツ振興くじ助成

１．地方公共団体スポーツ活動助成

（１）地域スポーツ活動推進事業　スポーツ情報の提供

〇助成対象事業の募集停止（実績及び助成事業評価を踏まえた対応）

<table>
<tr><td>見直し内容</td><td>スポーツ情報の提供について、募集を停止する。今後、事業の必要性について整理を行い、事業廃止の可否等を判断する。</td></tr>
<tr><td>見直し理由</td><td>スポーツ情報の提供における直近５か年度の交付件数が、僅少であり、ニーズが少ないと考えられるため。
<table>
<tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr>
<tr><td>件数</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr>
</table>
※ R2～5：交付件数、R6：交付決定件数</td></tr>
</table>

スポーツ振興基金助成

１．スポーツ団体選手強化活動助成

○助成対象者及び助成対象活動の追加、追加する助成対象者に対する助成割合の新設（ニーズを踏まえた対応）※要綱及び要領改正、手引改定

見直し内容	第２０回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）の開催前年度である令和７年度及び令和８年度に限り、以下の対応を行う。 ・助成対象者にＪＯＣを追加する。 ・助成対象活動に競技ごとの強化拠点等において、計画的かつ継続的に行う選手強化活動に対して補助を行う活動を追加する。 ・ＪＯＣに対する助成割合を１０分の９とする。
見直し理由	自国開催となる第２０回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）に向けて、競技力向上事業助成金※の対象となっていない実施競技の選手強化活動に対して、支援を行うため。 （なお、第５回アジアパラ競技大会（2026／愛知・名古屋）の実施競技については、全て競技力向上事業助成金の対象となっている。）

※ＪＯＣ及び同団体の正加盟競技団体並びにＪＰＳＡ及びＪＰＣ加盟競技団体が行う選手強化活動等の事業に対する助成金

○助成対象者の追加（ニーズを踏まえた対応）※要綱改正、手引改定

見直し内容	４年に一度開催されるワールドゲームズ※へ日本代表選手団を派遣する特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会を助成対象者に追加する。 ※次回は、令和７年８月に中国・成都市で開催される第１２回ワールドゲームズ
見直し理由	ワールドゲームズは「第２のオリンピック」とも言われるＩＯＣ後援の国際的な総合競技大会であり、ワールドゲームズの対象競技がオリンピック競技種目にも多く採用されていることから、国際競技力の向上において重要な場と位置付けられる。また、過去３大会に渡り、助成審査委員会の承認を経て助成対象者として認め、助成金を交付してきた経緯を踏まえ、今後も同大会への日本代表選手団派遣への支援を行うことが想定されるため。